

施工要領書

塩化ビニル樹脂系壁紙 フィルム汚れ防止壁紙

特徴：表面にフィルムをラミネートした汚れ防止機能のある壁紙です。

選択上の注意

- 間接照明の場合など、使用環境によっては下地が目立つことがあります。
- 一般ビニル壁紙と比較して施工難易度が高いため、施工費が割増しになる場合があります。

施工準備

低温時には商品が硬くなっていることがあるため、室内や商品を暖めてから施工してください。接着剤についても低温時は本来の効果が発揮されません。

下地調整

- 入念な下地処理を行い、施工面を平滑にしてください。
モルタルや合板下地の場合、アクが発生し壁紙を変色させることがあるため、シーラー処理をしてください。SA シーラー（BB-318）をおすすめします。シーラー処理をすることで下地の通気性を安定させ、壁紙表面の経年変化を軽減します。

接着剤塗布

- 接着剤
NEW サンゲツ糊（BB-378）、ミックス糊 100（BB-304）をおすすめします。低温時にはボンドを併用してください。
- オープンタイム・保管
糊付け後は折りジワがつかないように大きくたたみ、上積みは避けてください。
オープンタイムは15分以上が目安です。オープンタイムは温度や湿度に左右されますので現場環境に合わせて調節してください。オープンタイム不足はフクレ等の原因になることがあります。

貼り付け

- 出隅の納めの際は折り曲げた壁紙の表面からきれいな布でしっかりと押さえてください。
- 常に鋭い刃先のカッターを使用し、下地ボードの表面を切り込まないように下敷きテープ（BB-471）を入れて施工してください。

仕上げの留意点

- 壁紙表面に糊や汚れが付着した場合は、水を含ませたきれいな布で拭き取ってください。糊が付着したまま放置しておくと、変色やかびが発生する原因となります。

使用上の注意

- 日常の汚れは、固く絞ったスポンジか布で、水拭きしてください。落ちにくい場合は中性洗剤や消毒用アルコールをご使用ください。壁紙表面に残った洗剤は変色の原因となりますので、真水かぬるま湯できれいに拭き取ってください。
- 直射日光や空調による急激な温度変化、乾燥などの環境変化は避けてください。目隙の原因となります。